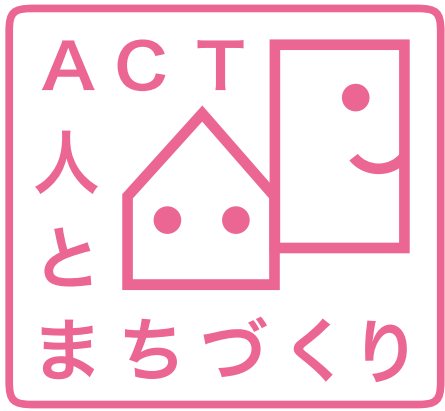




人とまちの木通信 vol.17

発行日 2023 年 8 月 1 日

発行 特定非営利活動法人 ACT・人とまちづくり
〒203-0032 東京都東久留米市前沢 4-9-6
小寺ビル 203 号（法人事務局）

TEL 042-479-4810 FAX 042-479-4860
https://act-hitotomachidukuri.org/

発行責任者 香丸眞理子

ケアマネジャー集団
わたしたちのしごと
ケアプラン作成 / 障がい者支援
まちづくり / 調査・研究

わたしたちは 生活クラブ運動グループの仲間です



ちょっとした 寛容・手抜き・挑戦

「多世代交流の場では、
居合わせた大人が宿題を教えたり、
その横で職員が会議をしたりすることもある。」

地方創生「ごちやまぜ福祉」の実践報告

令和5年6月10日(土) NPO法人ACT・人とまちづくり 第10回総会前の基調講演としてオンラインで堀田直輝氏を講師にお招きしました。久しぶりにメンバーは会場に集まり「地方創生」と「多様な人々が関わりをもつことができるような機能と場づくり」についてのお話を伺いました。

堀田氏は現在一般社団法人青年海外協力協会(JOCA)の事務局長です。

2018年3月に東京都心に構えていたJOCA本部を「地方創生事業に取り組み中、もっと地域と向き合えるオフィスにしよう」という目的の元駒ヶ根市に移転。年齢や障がいの有無等を問わず、誰でもが交流できる地域共生型による「多世代交流の場づくり」や「コミュニティとの関係も視野に入れた住まいの場づくり」など、制度の縦割りを越え、「ごちやまぜ」のコミュニティづくりを目指した活動を各地で展開しています。

年間約1,000人の青年海外協力隊のOB OGが日本各地でこの「地方創生事業」に取り組んでいます。その事例を紹介していただき、「日常的に多様な人が集まる場」を作ること、活気あふれる地域が生まれ、また、若者、高齢者、女性、障がい者、外国人など「誰もが居場所と役割を持ち活躍できる場」を作ること、人とのつながりができ、心地良い居場所に

できるというわくわくするような内容でした。

私たちも法人設立当初より、誰もが気軽に立ち寄り、参加交流できる「くらしの相談室」を地域に作ることを目標として掲げ試行錯誤していますが、具体的な活動には至っていません。今回の講演をお聞きして、「くらしの相談室」の具体化に向けていくつかのヒントをいただくことができました。

・多用途の居場所の活用↓地域を巻き込み、間仕切りや時間区切りを作らない。

・名称の工夫↓名称から用途が限られ、多様な人の利用を阻害しないようにする工夫。

・居場所の管理↓利用のルールを厳格・煩雑にせず、魅力的でわくわくするものにする。

…………… などなどです。

ACT・人とまちづくりとして、今年度も一歩一歩、「くらしの相談室」の実現に向けて進めていきたいと思っています。

ACT・人とまちづくり筆頭理事 小宮淳子

開催予定 「カフェ花」再開

主催&場所:きた居宅介護支援事業所(北区)
日時:毎月第二土曜日 13:00~15:00

コロナ禍のため中止していた「カフェ花」を7月より再開いたしました。開催日は今までと変わらず第二土曜日になります。皆様のご参加をお待ちしております。

報告 「さくらまつり」開催

参加:ねりま居宅介護支援事業所(練馬区)

3月25日練馬区桜台駅前で「さくらまつり」が開催されました。満開のさくらのもと、地元のお店の美味しいものをいただきました。ごみの回収のお手伝い等、地元の方々と交流しました。来年も是非、参加したいと思います。



さくらまつりの様子

開催予定 ねりま事業所独自の企画「街かどケアカフェさくら」で今年度はいくつかの企画を予定しています。7月19日(水)「ポイントメイクレッスン眉毛の書き方」開催。

報告 ゆるりと月イチ 「かいごカフェ」を開催

主催:たま北居宅介護支援事業所(東村山市)
:生活クラブ運動グループ東村山地域協議会
場所:生活クラブデポー東村山 カフェスペース
日時:6月8日(木) 13:30~15:00

テーマ「わたしとアニマルセラピー活動」浜村富美子さんの話。

パートナーの犬と一緒にCAPP(人と動物のふれあい活動)に参加している介護施設で動物とのふれあい活動をしています。ふれあいにより表情が無かった人の笑顔が見られた等、スタッフからの声がありました。



ご報告の様子



イベント開催の予定や報告は
ホームページに掲載しています。
← こちらから

厚生労働省と円卓会議で 介護保険制度改定の意見交換をする

5月29日介護の崩壊をさせない実行委員会は、円卓会議で厚生労働省・介護保険担当者と2024年度・2027年度に改定が予測される案件について、率直に質問し担当者の現状の見解を伺いました。

質問…介護保険の利用者負担2割についてこの8月に決まると聞きますが、負担増に対して反対が多いと思われる。医療保険の2割負担もありさらに介護費用が2倍になる現実で、利用者は必要なサービスを控える現象が起きる。その結果介護が重度化することもあるが、財源論で進める方向か?

回答…この8月2割負担の実施はない。昨年から現在まで4回検討している。2割負担見直し積極派、利用控え等あり慎重派の両面の意見がある。この12月に向けて結論を出すべく議論をしている状況。

意見…この秋以降も物価の高騰・電気代の値上げ等もあり高齢者の生活実態も考えて欲しい。

回答…高齢者の家計状況調査のブラッシュアップした資料を作成し提案する予定である。

質問…今回の2割負担の対象者の所得範囲について見直しをすることもあるか?

回答…現在の2~3割負担は65歳以上の所得水準の上位約20%が対象だが、今後、さらに議論になることもある。

今回の円卓会議は、大河原雅子衆議院議員の紹介があり実現しました。また当日の会議にも参加され、現在も毎日、介護保険を利用して生活する当事者としての意見もいただきました。

介護の崩壊をさせない実行委員会メンバーである、ACT・ACT人とまちづくり・神奈川ワーカーズ連合・神奈川ユニットの7名が参加し、上記の質問の他、各団体の質問が出され意見交換を行いました。

ACT・人とまちづくり理事長

香丸眞理子



お店の玄関前にて お嫁さんと共に

ワクワクが止まらない楽しみがある人生、 すべてのことに感謝と楽しみを持つ生き方



第9回

誰でも最後まで自立して人の世話にならずに生活する事を望んでいます、思うようにいかない事も常です。在宅・施設という枠を超えて人はどのようにその人なりの自分らしさを大事に生きているのかを紹介いたします。

練馬区在住 高田敬子さん 93歳 要介護2

※リハビリもデイケアもワクワク

2年前に圧迫骨折で入院されたときのこと、リハビリも楽しく取り組み、惜しみながらの退院。

デイケアでは、高田さんがいるだけで明るい雰囲気です。トランプやボール遊びも1位を目指して密かな闘志を燃やしています。が、楚々と取り組まれ、結果に一喜一憂されているのがとても微笑ましいです。(デイケア相談員より)



※幼少期から女学生の頃

兄弟6人唯一の女の子だったので、幼少期は男の子の遊びばかり。

戦時中は女学生で、勤労奉仕や畑仕事の毎日の中、「おやつのおツツマイモがとても美味しかったわ」と、つらい中でも楽しみを見出していました。

※毎日感謝

「私がこうして元気でいられるのもお嫁さんや周りの人の支えがあるから」

代々営まれている神仏具店は、ご長男が後を継いでいます。23年前に逝去されたご主人のお位牌に毎日感謝の言葉を欠かしません。ご主人とは、25歳でお見合いをして、第一印象が良くて結婚を決めたそうです。

結婚後は、職人さんと家族合わせて11人の食事の準備で毎日奮闘していました。

お嫁さん曰く元気の源は牛肉にあり！ご本人も、「お嫁さんの料理はとても美味しい！とにかくいいお嫁さん！このお嫁さんを選



担当して7年目に入り、なぜ世帯道具が多いのか教えてくれました。元気だった頃は、兄弟が多く年中誰かが遊びに来て泊っていたそうです。お料理もたくさん作ったそうで、台所の調理器具や食器の多い理由がわかりました。

寿司桶や、蒸し鍋など丁寧に包んであります。器類も、使える状態のものばかりです。片付け術として断捨離することを勧めますが、とても楽しそうに思い出話になり、話が止まりません。粗大ゴミとして処分するとか、不用品の回収専門の業者があることも伝えますが、処分をすることはなかなか決断ができないようです。

まだしばらくはこの状況が続きそうです。自分らしく納得できる方法が見つけられるよう、傾聴し寄り添っていきたいと思います。

長年溜まった家財を整理・片付けをすることに困っている方は多くいらっしゃいます。現状の介護保険ではヘルパーの共に行う日常生活の支援に限定されます。このような困りごとに対して、地域の色々なインフォーマルな支援の情報を提供し、多様なサービスを位置付けたケアプランを作成することがケアマネジャーに求められています。



デイケアでの作品

ケアマネより一言

WBCの決勝戦の時はデイケアを休んで自宅で応援し、「とても良かった！また3年後もぜひ見たい！」と興奮気味に話されていたのが印象的でした。これからも前向きに楽しく過ごしていただきたいです。

ねりま居宅介護支援事業所 加地昌江

ケアマネ集団 NPO ACT・人とまちづくり

NPO・ACT せたがや居宅介護支援事業所
世田谷区船橋1-1-2 山崎ビル205

☎ 03-3425-5862

NPO・ACT ねりま居宅介護支援事業所
練馬区桜台1-12-9 メナーージュ桜台1F

☎ 03-5946-6881

NPO・ACT きた居宅介護支援事業所
北区東十条4-10-6 グリーンコーポ103

☎ 03-5959-2241

NPO・ACT まちだ居宅介護支援事業所
町田市成瀬が丘2-27-1 FSビル1F

☎ 042-788-1561

NPO・ACT たま北居宅介護支援事業所
東村山市久米川町2-28-3 ソレイユハイツ101

☎ 042-390-6301

NPO・ACT にしとうきょう居宅介護支援事業所
西東京市保谷町6-25-22 ルーチェ・ヨコタ102

☎ 042-438-7416

まちだ事業所から
「15時頃になると誰からともなくお菓子を配って
ホッと一息いれています。
美味しそうなお菓子やお土産には歓声があがることも！」



イベントのおしらせ、機関紙のバックナンバーはホームページで観られます
ご感想、お問い合わせは下記まで

ACT・人とまちづくり法人事務局

TEL : 042-479-4810

FAX : 042-479-4860

Eメール : office@act-hitotomachidukuri.org